

# 海南高等学校美里分校

実施日時	令和元年 7 月 10 日(水)
参加者	生徒 16 名、教職員 11 名、地域住民等 24 名 計 51 名
実施内容	地震体験（起震車）、初期消火訓練、地震基礎講座、応急手当訓練、炊き出し・配膳訓練

## ねらい

- 1、自然災害に備え、起震車による地震体験や初期消火訓練の体験、および防災の基礎講座を学ぶことで防災への意識を高める。
- 2、地域の方と共同の防災訓練を通じて、防災の担い手として社会貢献できる青少年として生徒が成長することを目指す。

## 主なプログラム

- 1、体験①「起震車による地震体験」
- 2、体験②「消火器を用いた初期消火訓練」
- 3、地震・津波についての基礎講座
- 4、応急処置講座（三角巾、簡易担架）
- 5、非常食炊き出し、配膳訓練（アルファ米）

## 概要

長谷毛原地区地域防災組織と共催で実施した。

協力機関：株式会社 貴志  
紀美野町役場総務課

- 1、参加者（地域住民、本校生徒）を2グループに分け、体験①と体験②をグラウンドにて同時進行でそれぞれを体験する。

- 2、視聴覚室に移動し、基礎講座と応急処置訓練を行う。
- 3、基礎講座修了後、家庭科室にて炊き出し、配膳訓練を行う。

## 開会式



## 体験① 地震体験



## 体験② 初期消火訓練



## 地震・津波についての基礎講座



応急処置講座



非常食炊き出し、配膳訓練



### 参加者感想文

- 地震体験はとても恐かった。本当にあの大きさの地震が来たら立ってられないし、パニックになりそうだった。今回経験できたので、もし本当に大地震が来ることも想定し、心づもりをしておく必要があると思った。
- 消火器の使い方は一度使ってみると案外

簡単だった。しかし、使用方法を知らないと使うことはできないので今回体験できて良かった。

- 非常食で食べたアルファ米は思ったよりもおいしかった。
- 地震体験や初期消火訓練などを体験することができて本当に良かった。

### 成果と課題

#### 【成果】

高校と地域防災組織の共催で実施したので、高校生と地域住民が防災訓練を通じて交流することができた。また、防災スクールを開催する上で事前協議を綿密に行い、防災組織を中心とした地域への広報活動などにつながった。

地震体験、初期消火訓練等の体験は、災害時の状況をイメージでき、非常に有意義であった。

#### 【課題】

地域住民との交流をさらに深めるため生徒と地域住民の意見交換の場の設定等検討したい。

地域住民（高齢の方等）から避難経路の動線など意見をいただくことで、災害や避難時におけるバリアフリーの意識を持つことにつなげたい。